

## 腰越行政センター給水装置点検仕様書

### (業務の目的)

第1条 本業務は対象機器の定期点検及び緊急出動点検を実施するものです。

### (契約の対象機器)

第2条 対象機器の所在する建物名：腰越行政センター

対象機器の所在地：鎌倉市腰越 864 番地

対象機器：別紙のとおり

### (点検回数等)

第2条 受託者は別紙に示す対象機器について、年2回の定期点検業務(5月、11月)を実施し、対象機器の機能維持を図るものとする。

2 万一故障等の異常が発生した場合、委託者の要請により速やかに技術者を派遣し、適切な緊急出動点検を行うものとする。

### (修理等の費用)

第3条 前条の緊急出動点検の費用は受託者の負担とする。ただし、ここでいう点検とは機器及び配管系等における分解及び部品交換を伴わない外観点検、作業点検及び調整作業の範囲とします。部品交換、機器の分解修理、パイプラインの分解修理、機器更新などの修理は本業務の範囲外とします。

2 受託者の点検、修理に帰責事由があり、これに起因する不具合が生じた場合、受託者は無償で当該不具合が生じた対象機器の再点検または再修理を行うものとします。ただし、その他の責は負担しないものとします。

### (契約の適用外事項)

第4条 次の事項は契約の適用範囲外とし、委託者の負担とします。

- (1) 委託者の点検結果、修理が必要と認められた場合の修理費用及び部品代金
- (2) 委託者の不注意及び不適当な使用や管理、及び天災地変に起因する故障、損害。
- (3) 受託者の指定によらず第三者の取り扱い不良、修理、改修等に起因して生じた故障、損害。

### (報告、連絡義務)

第5条 受託者は、点検の結果について委託者に報告書を提出します。また点検の結果、不具合箇所が認められる場合は、遅滞なく委託者にその状況を連絡し、委託者及び受託者の協議の上その処理にあたるものとします

## 保守契約対象表

### [1] 定期点検契約機器

機器・用途	型 式	メ - カ -	台 数	製 造 年	製造番号
PU-1 加圧給水装置	50BIRMD53.7A	荏原	1基	1998年	PX733371
PU-2 雑用水ポンプ	65BIRMD55.5	荏原	1基	1998年	PX733375
PD-1 汚水排水ポンプ	65DV251.5	荏原	2台	2007年	P07766403
PD-2 雨水揚水ポンプ	65SQG52.2	荏原	2台	1998年	PX734969
PD-3(1) 雨水排水ポンプ	40DWS5.25B	荏原	2台	2011年	T1153005A4
PD-3(2) 雨水排水ポンプ	40DWS5.25B	荏原	2台	2011年	T1153005A4
PD-3(3) 雨水排水ポンプ	40DWS5.25B	荏原	2台	2011年	T1153005A4
PD-3(4) 雨水排水ポンプ	40DN5.25	荏原	2台	1998年	TX35963-FG4
PD-3(5) 雨水排水ポンプ	40DN5.25	荏原	2台	1998年	TX35963-FG4
PD-4 雑排水ポンプ	50DN5.4	荏原	2台	1998年	TX35967-G6
PCD-1-1 冷却水ポンプ	80X65FS4J55.5	荏原	1台	1997年	PW785926
PCD-1-2 冷却水ポンプ	80X65FS4J55.5	荏原	1台	1997年	PW785925
PCD-1-3 冷却水ポンプ	80X65FS4J55.5	荏原	1台	1997年	PW785924
PCH-1-1 冷温水ポンプ	65MS4M55.5	荏原	1台	1997年	PW785921
PCH-1-2 冷温水ポンプ	65MS4M55.5	荏原	1台	1997年	PW785920
PCH-1-3 冷温水ポンプ	65MS4M55.5	荏原	1台	1997年	PW785923

(特記事項)


(鍵保管場所)

.....

.....

.....

以 上

# 新 JES 契約点検仕様書

## (吐出し圧力一定給水ユニット 減圧弁方式) 仕様書 No. NJ-4

- ・点検は下記項目及び内容で実施いたします。(点検は、断水をさせない範囲での点検とします。)
- ・機器運転状況により、確認できない項目があります。
- ・点検時に異常が認められ断水の必要が生じた場合は、別途相談させていただきます。

### ●ポンプ点検

改定年月日：2013年11月

点検項目		点検内容
全体	外観	水漏れ、発錆、破損、塗装剥離がないか確認
	据付状態	機器固定部の緩みがないか確認
	振動・異音	異常な振動・異音がないか確認
	電圧	定格電圧の±5%以内であるか測定確認
	電流	定格電流値以内であるか測定確認
	運転圧力	吐出圧力確認
ポンプ	軸封部	メカニカルシール：目に見える漏水がないか確認
	軸受	異常音がないか確認(聴覚による確認)
電動機	フレーム温度	異常な温度でないか確認(触診による確認)
	軸受	異常音がないか確認(聴覚による確認)
	絶縁抵抗	1.0MΩ以上あるか測定確認
	回転方向	正常回転方向であるか確認
付属品	圧力タンク	規定封入圧力であるか測定確認(不足の場合は補充を実施)
	仕切弁 ※1	正常に開閉するか確認
	フート弁 ※1	正常に開閉するか確認(落水がないこと)
	減圧弁	設定圧力で安定して運転しているか確認
	圧力センサ・スイッチ	正常に動作するか確認
	圧力計・連成計 ※1	指示値や0点が異常な値を示さないか確認
	フレキシブルパイプ ※	亀裂、損傷、水漏れの有無確認
	防振架台 ※1	防振ゴムの位置、劣化状態の確認
制御盤	電磁接触器	接点の磨耗を目視で確認・接触状態を動作で確認
	サーマル値	設定が正しいか確認
	ディップスイッチ	設定が正しいか確認
	データ設定	設定値が正しいか確認
	スイッチ作動点検	切替スイッチ等が正常に作動するか確認
	表示 ※3	表示灯、表示器が正常に表示するか確認
	配線	端子部や配線の損傷を目視確認・動力線端子部に緩みがないか確認
	運転制御	始動圧力 ※3
停止圧力 ※3		動作確認
自動交互運転 ※3		正常に切替るか確認
追加・解列運転 ※2※3		正常に追加・解列するか確認
警報発報 ※3		正常に発報するか確認(模擬信号による)

注) ※1 付属の場合 ※2 該当する場合 ※3 運転状況により点検できない可能性がある項目

### ●貯水槽点検

点検項目		点検内容
受水槽	水槽外観	水漏れの有無を確認・はしごの劣化状態確認
	マンホール	密閉状態の確認
		施錠状態の確認
		ヒンジの状態確認
	給水管	水漏れの有無を確認(受水槽直近の閉止バルブまでを所掌範囲とする)
	水槽内部	槽内浮遊物・沈殿物の有無を確認
	定水位弁、ボールタップ、電磁弁、電動弁	完全に止水するか確認
	電極棒、フロートスイッチ※1	発錆・変形・損傷・水漏れ有無を確認
	電極棒端子台に緩み、腐食等がないか確認・フロートスイッチが正常に動作するか確認	

注) ※1 該当する場合

### ●点検終了後の確認

点検終了後のブレーカ投入、自動運転セット、バルブの開閉状態の確認

### 特記事項

- ・各種水槽内に設置されている機器について、水槽内の水を抜いて行う点検は含まれておりません。

# 新 JES 契約点検仕様書 (陸上ポンプ)

仕様書 No. NJ-7

- ・点検は下記項目及び内容で実施いたします。なお点検時に、機器の運転・停止をさせる必要があります。
- ・機器の運転・停止について事前に相談いたします。
- ・当日、機器運転・停止が出来ない場合は、一部確認できない点検項目があります。

## ●ポンプ点検

改定年月日：2013年11月

点検項目		点検内容
全体	外観	水漏れ、発錆、破損、塗装剥離がないか確認
	据付状態	機器固定部の緩みがないか確認
	振動・異音	異常な振動・異音がないか確認
	電圧	定格電圧の±5%以内であるか測定確認
	電流	定格電流値以内であるか測定確認
	運転圧力	締切圧力確認                      吐出圧力確認                      吸入圧力確認
ポンプ	軸封部	メカニカルシール：目に見える漏水がないか確認 グランドパッキン：滴下量が許容範囲内にあるか確認
	軸受	異常音がないか確認（聴覚による確認）
	軸受潤滑油 ※1	ゲージから見える潤滑油が適正量あるか、汚れがないか確認
	バランスディスクシート※2	異常磨耗がないか確認
	カップリング ※3	異常な芯ずれがないか確認 カップリングゴムの異常な磨耗がないか確認
電動機	フレーム温度	異常な温度でないか確認（触診による確認）
	軸受	異常音がないか確認（聴覚による確認）
	絶縁抵抗	1.0MΩ以上あるか測定確認
	回転方向	正常回転方向であるか確認
付属品 ※4	仕切弁	正常に開閉するか確認
	フート弁	正常に開閉するか確認（落水がないこと）
	圧力計・連成計	指示値や0点が異常な値を示さないか確認
	フレキシブルパイプ	亀裂、損傷、水漏れの有無確認
	防振架台	防振ゴムの位置、劣化状態の確認
制御盤	電磁接触器	接点の磨耗を目視で確認・接触状態を動作で確認
	サーマル値	設定値が正しいか確認
	液面リレー	正常に動作するか制御盤端子にて確認
	交互リレー	正常に動作するか確認
	スイッチ作動点検	切替スイッチ等が正常に作動するか確認
	表示	表示灯が正常に表示するか確認
	配線	端子部や配線の損傷を目視確認・動力線端子部に緩みがないか確認

注) ※1 オイルバス方式の場合 ※2 MS型の場合 ※3 直結形の場合 ※4 付属の場合

## ●貯水槽点検

点検項目		点検内容
受水槽	水槽外観	水漏れの有無を目視点検・はしごの劣化状態確認
	マンホール	密閉状態の確認
		施錠状態の確認
		ヒンジの状態確認
	給水管	水漏れの有無を確認（受水槽直近の閉止バルブまでを所掌範囲とする）
	水槽内部	槽内浮遊物・沈殿物の有無を確認
	定水位弁、ボールタップ、電磁弁、電動弁	完全に止水するか確認 発錆・変形・損傷・水漏れ有無を確認
電極棒、フートスイッチ※1	電極棒端子台に緩み、腐食等がないか確認 フートスイッチが正常に動作するか確認	
高置水槽 ※2	水槽外観	水漏れの有無を確認・はしごの劣化状態確認
	マンホール	密閉状態の確認
		施錠状態の確認
		ヒンジの状態確認
	水槽内部	槽内浮遊物・沈殿物の有無を確認
電極棒、フートスイッチ※1	電極棒端子台に緩み、腐食等がないか確認 フートスイッチが正常に動作するか確認	

注) ※1 該当する場合 ※2 高置水槽制御仕様の場合

## ●点検終了後の確認

点検終了後のブレーカ投入、自動運転セット、バルブの開閉状態の確認

## 特記事項

- ・各種水槽内に設置されている機器について、水槽内の水を抜いて行う点検は含まれておりません。
- ・運転圧力に関しては、機器に設置されている圧力ゲージの読み値とさせていただきます。

# 新 JES 契約点検仕様書 (汚水・雑排水水中ポンプ)

仕様書 No. NJ-9

- ・点検は下記項目及び内容で実施いたします。なお点検時に、機器の運転・停止をさせる必要があります。
- ・機器運転・停止について事前にご相談いたします。
- ・当日、機器運転・停止が出来ない場合は、一部確認できない点検項目があります。

## ●ポンプ点検

改定年月日：2013年11月

点検項目		点検内容
全体	振動・異音	異常な振動・異音がないか確認
	回転方向	電流値と圧力により正常かどうか判断
	電圧	定格電圧の±10%以内であるか測定確認
	電流	定格電流値以内であるか測定確認
	運転圧力	締切圧力確認 吐出圧力確認
電動機	絶縁抵抗	1.0MΩ以上あるか測定確認
付属品 ※1	仕切弁	正常に開閉するか確認
	逆止弁	正常に開閉するか確認 (逆流がないこと)
	圧力計	指示値や0点が異常な値を示さないか確認
	70-Tスイッチ (自動型)	正常に作動するか確認 (始動、停止、交互)
制御盤	電磁接触器	接点の磨耗を目視で確認・接触状態を動作で確認
	サーマル値	設定値が正しいか確認
	液面リレー	正常に動作するか制御盤端子にて確認
	交互リレー	正常に動作するか確認
	スイッチ作動点検	切替スイッチ等が正常に作動するか確認
	表示	表示灯が正常に表示するか確認
	配線	端子部や配線の損傷を目視確認・動力線端子部に緩みがないか確認

注) ※1 付属の場合

## ●水槽点検

点検項目		点検内容	
水槽	水槽内部	槽内浮遊物・沈殿物の状況を確認	
	マンホール	密閉状態の確認	
	電極棒、70-Tスイッチ ※2		異物の付着の有無を確認
			正常に作動するか確認 (始動、停止、解列、交互)
			正常に作動するか確認 (満水警報)
	電極棒端子台に緩み、腐食が無い確認		

注) ※2 該当する場合

## ●点検終了後の確認

点検終了後のブレーカ投入、自動運転セット、バルブの開閉状態の確認

## 特記事項

- ・水槽内に設置されている機器について、槽内に入って行う点検は含まれておりません。
- ・運転圧力に関しては、機器に設置されている圧力ゲージの読み値とさせていただきます。